



P1 特集 社会福祉事業所紹介

地域とかかわり、地域の人たちの
“つながり”を守っていく

社会福祉法人 地域でくらす会「いくのさん家」
小規模多機能型居宅介護「木守舎」

P5 チャレンジ福祉の仕事

P6 福祉専門職の紹介

看護師

社会福祉法人 地域でくらす会「いくのさん家」
小規模多機能型居宅介護「木守舎」

P7 福祉人材センター情報

保育のお悩み相談窓口を開設しました

保育士再就職準備金・保育料等の一部の貸付制度

心と心のかよいあう福祉の情報誌

2018 Vol. 98

本当の“地域密着型”的支援を

P8 ボランティア・市民活動センター情報

とっとりボランティアバンクをご活用ください
県内のボランティア情報サイト

P9 ボランティア・市民活動センター情報

「ともに生きる福祉学習推進事業」指定校の取り組み
新規指定校：学校法人鶴鳴学園 青翔開智中学校・高等学校

P11 ことぶき高齢者情報

第28回 因伯シルバー大会

P12 ことぶき高齢者情報

いきいきシニア 人生の宝さがし

P13 矢取県社会福祉協議会からのお知らせ



社会福祉法人 矢取県社会福祉協議会

〒689-0201 矢取市伏野1729-5(県立福祉人材研修センター内)

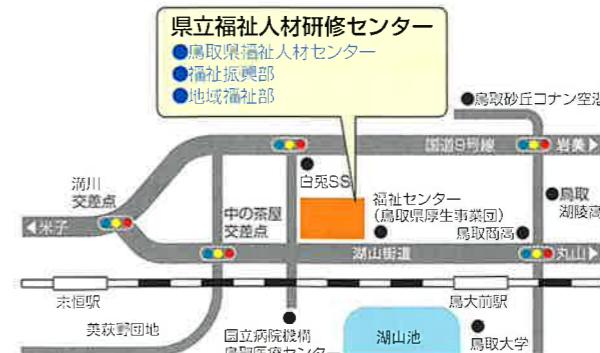
URL <http://www.tottori-wel.or.jp>

e-mail soumu@tottori-wel.or.jp

鳥取県福祉人材センター
TEL.0857-59-6336 FAX.0857-59-6341
URL http://www.tottori-wel.or.jp/p/jinzai/shigoto_top/
e-mail jinzai@tottori-wel.or.jp

ボランティア・活動支援担当
ボランティア担当 TEL.0857-59-6336 福祉・教育担当 TEL.0857-59-6344
FAX.0857-59-6341
URL http://www.tottori-wel.or.jp/p/jinzai/vol_top/
e-mail vc@tottori-wel.or.jp

明るい長寿社会づくり推進事業担当
TEL.0857-59-6332 FAX.0857-59-6340
URL <http://www.tottori-wel.or.jp/p/chiiki/kotobuki/>
e-mail kototori@tottori-wel.or.jp



本誌について、また、福祉に関するご意見について
県民のみなさまからの御意見をお寄せください。

「HOTeye ホットアイ」第98号／平成30年8月6日発行
発行／社会福祉法人 矢取県社会福祉協議会 〒689-0201 矢取市伏野1729-5(県立福祉人材研修センター内) TEL.0857-59-6331 FAX.0857-59-6340
印刷／日ノ丸印刷株式会社

再生紙を使用しています。



社会福祉法人 地域でくらす会「いくのさん家」
前身は、平成8年に米子市と鳥取市に開設した無認可の老人施設が始まりました。そして平成10年には「認知症の本人や家族を支えるための支援サービスをつくりたい」との思いから「いくのさん家」のデイサービスセンターを鳥取市に開設しました。現在では、県内に高齢者施設が14拠点、障がい者施設が5拠点あり、鳥取市内には、小規模多機能型宅

地域とかかわり、地域の人たちの「つながり」を守っていく
地域とかかわり、
地域の人たちの「つながり」を守っていく



阪本施設長

今まで元気を保つてもらえる
歴を知り、細やかなつながりが途切れることなく続くようになります。
そのため、その利用者が誰とつき連携していくことなのです。
あい、どう生きてきたかという生活
れることなく続くようになります。
そのため、その利用者が誰とつき連携していくことなのです。



地域とかかわり、 地域の人たちの「つながり」を守っていく

施設を自宅の代わりに しないで地域に住む

介護、グループホーム、デイサービスセンターなどが9拠点あります。

木守舎では、看護学校や福祉人材養成校などからの実習生を幅広く受け入れています。そのときに「学生たちから『福祉施設のイメージが変わる』とよくいわれます」と、地域でくらす会副理事長で、いくのさん家を統轄する竹本匡吾さんは話します。

そこにあるのは「地域に住む人をいかに支えるか」というスタンスです。施設と家の行き来だけではなく、利用者一人ひとりのつながりを見直し、生活環境として地域とトータルに連携していくことなのです。

そのため、その利用者が誰とつき連携していくことなのです。
あい、どう生きてきたかという生活歴を知り、細やかなつながりが途切れることなく続くようになります。
今まで元気を保つてもらえる

よう心を配っています。
それは「ひとりの認知症のご本人忘れることなく、「いくのさん家」が決して自宅の代わりになつてはいけない」ことを心掛けることだと竹本副理事長は話します。

他法人の小規模多機能型居宅介護事業所に勤務していた頃、「在宅を支えるとは、どういうことなのだろうか」と悩んでいたという施設長の阪本亜美さんは、木守舎で学びたいと思い、平成28年の4月から勤務しています。

そして、「利用者の住まいのある

施設と家の行き来だけではなく、利用者一人ひとりのつながりを見直し、生活環境として地域とトータルに連携していくことなのです。



社会福祉法人
地域でくらす会
たけもと きょうご
竹本 匡吾
副理事長

地域とかかわりることの大切さを学んでいく中で、もっとできることがあるのではないか。この人にどうては何だろうと悩むこともあります。まだまだ勉強中です」と話します。

しかしながら、職員に対して「私自身も現場に入って失敗をしながら、たくさんの感動も皆さんと一緒に感じています。チームの一員として、利用者の強みを引き出せるよう、一緒に考えることが大切です。そのため、対等な立場で同じ目線を持ちながら自由度を高くして柔軟に対応できるようにしています」と、ともに悩みながら職場づくりをし、地域密着型サービスの姿を追い求めている

まち 社会福祉法人 地域でくらす会「いくのさん家」 き まもり しゃ **小規模多機能型居宅介護 「木守舎」**

「ひじりさん」と呼ばれて親しまれる「聖神社」がある、古くからの中心市街地である鳥取市行徳の明徳地区に小規模多機能型居宅介護「木守舎」があります。

「地域でくらす会」は、高齢者や障がいのある方などが、

住みなれた家や親しい人たちから離れることなく、地域の一員として暮らせるよう援助することをめざしています。そのため、大規模な入所施設ではなく、小さいながらまとまって落ち着きのある施設を小地域に点在して開設しています。『地域の人々とともに利用者・家族を支えられるしくみづくり』その取り組みを取材しました。





朝の引き継ぎミーティング

現在は、明徳公民館で毎週月曜日、南行徳会館で毎月第1金曜日に介護

る気持ちと、木守舎のめざすカタチが合致したことがあげられます。さらには「地域とともに」という意味合いには、利用者サービスだけではなく、その地域の実情を知り、地域と一緒にすることで、生活環境を改善することができます。そのひとつの姿が、

木守舎では、要支援1から要介護5認定の方から、認知症や持病のある利用者が、通い訪問・宿泊の各サービスを一体的に利用しています。

副施設長の山崎さおりさんは、ケアマネジャーとして支援計画の作成を担当し、家族の負担を軽減するための福祉用具から生活全般にわたるアドバイスなどをを行い、設立当所から地域とともに利用者・家族を見

ひとり暮らしでも安心して生活できる地域づくりを



気づきノート

常に、職員や利用者・家族が日常のちょっとしたことでも書き込み、「気づきノート」があります。それは、情報を共有し、問題や課題を巡回しないこと、そして、気づきやそのセンスを養うことに役買っています。

ようです。

守ってきた一人です。

当初は「高齢者の事故など様々な予防の観点から、地域の困りごと拠点」のような位置づけがありました」と山崎さんは話します。今では



山崎副施設長

「運営推進会議」が「地域のつなぎ役」として機能し、木守舎の地域活動や行事に住民と一緒に取り組んでいます。

それは、施設での折り紙教室ややogaを楽しむ地域サロン的な一面から、「もつと地域に出かけて行く」と、防災訓練や公民館の配食サービスのお手伝いなどを続けることで認知され、相談ごとを受けるようになつたことから始まりました。そこには「コミュニティを再形成して、地域を醸成したい」という住民の思いや、地区の民生委員の「木守舎だったら大丈夫だ」と信じてくださ

山崎さんの「独居の方でも安心して生活していく地域づくり」なのでしょう。

地域とともに利用者と寄り添う密着型支援

木守舎は明徳地区の中の南行徳といわれる地域にあります。その南

行徳で生まれ育った田淵正子さんは「健

康づくり推進委員会」の理事で、食生

活推進委員でもあ

ります。

以前、田淵さんの

叔母が、いくのさん

家にお世話になつて

いたことがあります。

また、木守舎が配食サービスの手伝

になり、「近くに木守舎が出来て良かったと思っています」と話します。

現在は、明徳公民館で毎週月曜日の「ミニデイ」のほか、南行徳会館で毎月第1金曜日に介護



ご近所の田淵正子さん

予防をかねた「ふれあいサロン」の開催などに力をそそいでいます。そのサロンには、木守舎の利用者が職員と一緒に毎回参加しているそうです。

「昔のように、親子が一緒に生活できるようになればうれしいけど」と、さみしそうに話しながら、木守舎の取り組みにも期待しているようで、「先々、木守舎さんのお世話になるかなあ」と笑顔を見せます。

時代とともに家族のカタチも移ろっています。木守舎はその「助」としても、地域とかかわり、地域の人たちのつながりを守っていくことで、地域とともに利用者に寄り添う、地域密着型支援に取り組んでいます。



【概要】

- 所在地 / 島根県鳥取市行徳2丁目429番地
- 開設日 / 2009(平成21)年4月1日として開設、翌年、現事業に改定
- 運営主体 / 社会福祉法人 地域でくらす会「いくのさん家」
- 職員数 / 19名、非常勤職員4名(施設長・ケアマネ各1名、介護士12名、看護師2名、調理師2名、運転手1名)
- 定員 / 通い機能(通所)18名、宿泊機能(ショートステイ)9名
- 利用相談窓口 / 当該施設、運営主体



県内のボランティア情報サイト
とつとりボランティアバンクをご活用ください

とつとりボランティアバンクでは、こんなことができます

ボランティア活動をしたい方

- 県内外のボランティア募集情報やボランティアに関する講座・イベント情報を、メールや文書で受け取れます。



ボランティアを活用したい方

- ボランティアバンクを通じて、ボランティアの募集やイベント情報を、ホームページやメールで情報発信できます。

とつとりボランティアバンクへの登録方法

- 登録票に必要事項を記入のうえ、下記までファクシミリもしくはEメール、郵送にて送付してください。
- 登録票は下記ホームページからダウンロードいただき、お問い合わせ先にご連絡ください。

ホームページアドレス <http://www.torivc.jp/>

とつとりボランティアバンクを通じての活動紹介

●情報誌「ホットアイ」Vol.96の掲載記事取材ボランティア

「ホットアイ」のいきいきシニアコーナー掲載記事の取材活動を登録者の竹本さんに依頼しました。活動前に説明を受けてから、地域の身近ないきいきサロンを取材されました。活動を終えて、「地域の中から自然に生まれた活動が長く活発に続いていることに、今までこの活動に携わってこられた多くの方々のご尽力と心意気を強く感じました。」と感想を述べられました。



●智頭町災害ボランティアセンターでの活動

7月に発生した豪雨により、智頭町社会福祉協議会では7月10日に「智頭町災害ボランティアセンター」を開設しボランティアによる支援を行いました。

7月15日に閉所しましたが、延べ85人のボランティアが活動しました。とつとりボランティアバンク登録者も、床下の泥撤去・納屋の家財移動など真夏の厳しい暑さの中、こまめに休憩をとりながら活動しました。

お問い合わせ先：福祉人材部(人材開発・ボランティア担当)

TEL(0857)59-6336 FAX(0857)59-6341 E-mail : vc@tottori-wel.or.jp

鳥取県保育士・保育所支援センターからのお知らせ
「保育のお悩み相談窓口」を開設しました

保育従事者・保育事業主を対象に、
様々なお悩み相談をお受けします

■保育従事者の方

人間関係がうまくいかない、家庭・仕事のバランスを取りにくい等の日頃のお悩みや、労働に関するお悩み。誰でもいいから、ちょっと聞いてほしい等。まずは、お話ししましょう。様々な仕事に関するお悩みを話して、少し楽になりませんか?匿名でも大丈夫です。相談内容・プライバシーは厳守いたします。お気軽にご相談ください。



■保育事業主の方も、ご利用ください

保育所の労働環境改善に取り組みたい、助成金を活用したい等、お考えの事業主の方はご相談ください。必要に応じて専門家に、おつなぎいたします。

◆保育のお悩み相談窓口

電話(0857)59-6342 メール hoikucenter@tottori-wel.or.jp

◆職員紹介

保育士・保育所支援センターには二人の職員がいます。

○保育士の就職支援担当：中井一途 ○相談窓口担当：内田和枝

◆図書閲覧コーナー

最新の保育情報がよくわかる!おすすめの本が閲覧できます。ぜひご利用ください。

お問い合わせ先：福祉人材部(鳥取県保育士・保育所支援センター) TEL(0857)59-6342

鳥取県内で保育士として働く皆さまへ
再就職準備金・保育料等の一部の貸付制度のご案内

2年間、鳥取県内の保育所等において勤務されると、
全額返還免除されます

潜在保育士の就職(復職)に向けた環境を整備し、保育士確保を推進するため、就職準備金及び未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部を貸付します。(条件有り)

●就職準備金……40万円以内 (1人1回限り)※平成30年度

【資金使途例】就職に伴う転居費用、被服 等

●保育料の一部……月額2万7千円以内 (1年間限り)

●預かり支援事業利用料の一部……年額12万3千円以内 (2年間限り)

お問い合わせ先：福祉振興部 TEL(0857)59-6344



鳥取盲学校生徒との混成チームでの「フロアバレー」

レゼンの評価の6つのサイクルを繰り返すことで、探求を広げ、深める手法です。

私学の「自由度」を生かした課題発見を

今までの探究型学習でまとめられた「探究基礎終了論文集」の中には、「認知症とその改善について～今までこれからを考える～」「児童養護施設での虐待を減らすには」「はじめ自殺防止における認知療法の可能性」など、社会福祉における問題・課題と向き合つテーマが少なくありません。それでは、ともに生きる福祉学習推

り返すことごとで、探求を広げ、深める手法です。

私学の「自由度」を

生かした課題発見を

これまでの探究型学習でまとめられた「探究基礎終了論文集」の中には、「認知症とその改善について～今までこれからを考える～」「児童養護施設での虐待を減らすには」「はじめ自殺防止における認知療法の可能性」など、社会福祉における問題・課題と向き合つテーマが少なくありません。それでは、ともに生きる福祉学習推

り返すことごとで、探求を広げ、深める手法です。

私学の「自由度」を

生かした課題発見を

進指定校として、どのような取り組みを考えられているのでしょうか。横井校長は「計画や展望はこれから生徒たちと一緒に考えていくべきです」としながら、基本的には「地域福祉への理解を深め、問題を発見することが第一歩になります」と考えています。横井校長は「地域福祉活動などを対象とした地域福祉活動など多くの参加・交流から始める」と思いました。

また青翔開智の高校生は、自己肯定感から他者理解へと結び、実際的な個人探求としての人権教育を受けています。その中で「SDGs」を探求テーマとしている生徒から「男女の呼び方を『君』と『さん』で使い分けられることに対し、私を含めた教員に、それは性差別にあたらないかと聞き取りされました」と横井校長は微笑みながら話します。

私たちには、今までにすり込まれるように身につじつしまったことがあります。その状態を「自分の意識改革で解き放ち、そして他者に発信すること」で、人のためになるようになります。そのことは、ちょうどした、「気づき」から生まれることができます。横井校長は「私学である」との「自由度」を生かし、生徒の好奇心と柔軟な発想で、地域福祉や日常生活の中の課題が発見できるよくな気がします」と生徒の主体性

に期待をします。

福教育が

すでにベースとしての

青翔開智の中学の3年間のカリキュラムには「道徳」が組まれています。その中には「手話とひつ（鑑）文化の学習」「「バーサルデザイン出前授業」「発達障がいの理解」「男女共同参画社会について」のほか、同和問題やあいサポート運動など、地域福祉に密着した学習内容が多く含まれています。

このたびの福祉学習の推進事業を担当する社会科教諭の池田夏輝先生は、「それらの学習は、様々な「気づき」のきっかけを与える学習であり、この学習を探究型学習としながらリソースをせらかにかかっています」と語りますが、成果をまとめて福祉テーマの論文にまとめ上げ、福祉大会などで発表できる提言にしたい」と心の奥で思いをめぐらせています。

さて、実際に地域福祉を探求する生

徒はどう考えているのでしょうか。交

付式で挨拶をした前田のぞみさんは、

今までの福祉活動の経験について「道徳の学習での多様性の学びと、小さな頃からいろいろな本を読んで、人のためになる貢献がしたい」と思っていた気持ちがとけあって、文化祭で献血のコーナーを作り、着ぐるみをかぶつて

「ともに生きる福祉学習推進事業」指定校の取り組み 新規指定校：学校法人鶴鳴学園 青翔開智中学校・高等学校



指定証交付式で挨拶をする藤井喜臣会長

青翔開智の「探究」する力を生かして

指定証の交付にあたり、県社協の藤井喜臣会長は「生徒一人ひとりがよく考え、行動に移していく「探究型学習」など、教育方針が本事業と符合するところから指定させていただきました」

青翔開智の「探究」する力を生かして

力が生まれます。

それを受けた横井司朗校長は「本校では「探究・共成・飛躍」の3つの教育方針の中でも、『共成』に力を入れています。それは多様性を認め、違いを認め合いつゝことで、受容から共感を生み出し共に働くことじと、ともに生きることに同じです。本学の探究活動で地域福祉において何か提案ができる良いと考えています」と抱負を述べました。

生徒を代表して中学3年生で厚生保健委員会委員長の前田のぞみさんは「福祉を通して社会貢献をすると思えば緊張しますが、本校の探究活動の力で最大限の活動ができるればうれしいと思っています」と意欲を感じさせます。

その後、青翔開智の生徒が近くに位置する鳥取盲学校に移動し、5年前から実施している合同授業である、視覚障がい者スポーツ「フロアバレー」が行われ、障がいの理解、生徒の交流を深めました。

それを受けた横井司朗校長は「本校では知識伝達型の二者授業ではなく、多面的な授業を、中学一年から高校2年前期までの4年半にわたって行っています」と横井校長は話します。

その成果のひとつが最近話題になっている、青翔開智の中学生と食品会社が共同開発した新商品「カーフフルライキょう」です。それは総合学習の一環としてビジネスアイデアを提案する課題解決型の職場体験で、漬物などを製造販売する食品会社を訪問したのがきっかけで、なじみの少ない若者にも食べてもらえた「カーフキョウ」と「インスタ映え」を狙い、3色に染めて目を引く商品に仕上げ、現在「道の駅」やネットなどで販売されています。

その探究のステップは、図書とICT（情報通信技術機器）を活用しながら、1)テーマの設定 2)情報収集 3)情報分析 4)論文執筆 5)プロ



横井司朗校長



池田夏輝先生



前田のぞみさん

福祉の「気づき」から地域の「築き」へ

福祉の心を育み「ともに生きる」社会の実現をめざすため、鳥取県社会福祉協議会が福祉教育の推進に理解のある学校を指定し、福祉学習推進事業指定校として3年間にわたり実施がはじまります。

それは学校生活にとどまらず、地域に学びのフィールドを広げ、多様な人々との出会いや交流を通して、福祉課題や生活課題への気づきを生み、その課題を解決する方法を生徒自らが考え、企画・実践する力を身につけるための取り組みです。

青翔開智中学校・高等学校は県内初の中高一貫校となり、その指定証交付式が去る5月18日に同校で行われました。

人生の宝さがし



日韓交流会 IN 鳥取

県内の素敵な高齢者を
同世代のことぶきレポーターが取材します。
「シニア」の「シニア」によるシリーズ。
地域で頑張っている人、生きがいをもって暮らしてい
る人など高齢者の魅力を余すことなくご紹介します。

(83)さんは、平成20年12月に非営利活動法人「創造」、障害福祉サービス

県内の素敵な高齢者を
同世代のことぶきレポーターが取材します。
「シニア」の「シニア」によるシリーズ。
地域で頑張っている人、生きがいをもって暮らしてい
る人など高齢者の魅力を余すことなくご紹介します。



オランダ「フォーディズマーチ」(左から4人目が竹森さん)

充実した日々を過ごされています
他にもサロン活動や茶話会など、地
域の方に楽しんでいただける様々な
活動をされている竹森さんは、「小鴨
の宝さがし」は「倉吉の宝さがし」そ
して「人生の宝さがし」とお話をされ



中部歩こう会[比叡山ウォーク](前列右から3人目が竹森さん)

その他 打吹山一周登山 [7年間の

工ネルギッシュな竹森さんですが、健康の秘訣は、会員100名の鳥取中部「歩こう会」で、事務局長を務め、県内のウォーキングをはじめ、年2回国的重要文化遺産を訪ね歩き、毎月の例会では、歴史文化遺産を訪ね歩いているのです。

とにかく色々と立ち上げ上手な方で、平成7年には「高齢社会をよくする会くらよし」、傾聴ボランティア「あいりすの会」も立ち上げ、高齢者施設や独居の高齢者、子育て中のお母さんなど在宅の方々を訪問し悩みを共有しておられます。傾聴ボランティアは、世の中を元気にする重要な存在で、素晴らしいものだとお



よーとぴあ創造のみなさん(前列右から2人目が竹森さん)

中本倫子さん(倉吉市) 竹森さんは、とにかく色々と立ち上げて手でエネルギーッシュな方、どどまる事のない発想の持ち主です。私と同世代ですが、只々驚きでした。これから先も県民のためにお力添えをお願いしたいと思ひます。

取材を終えて一言
中本論子（かみほん りんこ）

倉吉の健康づくり推進員として
健康増進に20数年間にわたり活躍
され、生涯現役とはこの事です。

第28回因伯シルバー大会入賞結果一覧

競技種目		表彰区分	1位
卓 球	A男子	70歳以上の部	滝本 弘(鳥取市)
	A男子	65歳以上の部	山田 善一(鳥取市)
	A男子	60歳以上の部	松本 秀樹(倉吉市)
	A女子	70歳以上の部	谷本 通子(鳥取市)
	A女子	65歳以上の部	田中 茂子(鳥取市)
	A女子	60歳以上の部	遠藤 聖子(三朝町)
	B男子	の部	柳原 哲雄(倉吉市)
	B女子	の部	安田サチ子(鳥取市)
テニス	男子A組 (70歳以上)		寺澤 敏彦(境港市) 中井 大(米子市)
	男子B組 (60歳以上)		古志 正人(米子市) 稻田 瞳(米子市)
	女子 (60歳以上)		神山 幸子(鳥取市) 北野 晴子(鳥取市)
	男子ダブルス (60歳以上)		鷺見 寿久(倉吉市) 近藤 一樹(倉吉市)
ソフトテニス	女子ダブルス (60歳以上)		
	混合ダブルス (男子70歳以上、女子60歳以上)		吉田 芳子(三朝町) 田中 賢治(北栄町)
ソフトボール	団 体		雨天のため中止
ゲートボール	団 体		砂丘ドリーム(鳥取市) 中垣竹良、吉原万喜、橋本正則、木地節子、柳川 貞
ペタング	団 体		大塚クラブ(倉吉市) 生田 正、生田早苗、仲倉愛子
ゴルフ	個 人 (ダブルペリア方式)		宍戸 正郎(倉吉市) *ベストグロス賞: 宮本孝志(境港市) 72ストローク
弓道	個 人		谷口 寿彦(鳥取市)
グラウンド・ゴルフ	団 体		北条SP B (219打)(北栄町) 前田周二、矢田三男、佐々木収、松井隆義、 山田道則、津村信夫
	個 人		朝倉光夫(26打) (湯梨浜町)
囲碁	Aクラス(無差別)		平野 啓壯(鳥取市)
	Bクラス(5段~2段)		山田 平(倉吉市)
	Cクラス(初段、級位者)		坂本 純子(鳥取市)
将棋	Aクラス(無差別)		加登賜秀樹(琴浦町)
	Bクラス(初段以下)		内海 義雄(倉吉市)
健康マージャン	個 人		阿部 泰典(境港市)

A woman wearing a blue polo shirt with a red logo on the chest, orange trousers, and a dark cap is in the middle of a bowls throw. She is wearing red gloves and has a red bowls ball at the end of her white-wheeled delivery stick. In the background, there's a large metal frame structure and another person sitting on a bench.

A group of four golfers are gathered on a green putting green. One golfer in a blue shirt and white pants is in the foreground, putting the ball towards a yellow flag. Two other golfers in blue shirts and white pants are watching from behind him. A fourth golfer in a white shirt and white pants stands further back on the left. The background features a dense line of trees.

この大会は11月開催の「第31回全国健康福祉祭とやま大会（ねんりんピック富山2018）」の選手選考会も兼ねており、上位入賞者は鳥取県代表として出場されます。

霧雨でのスタートでしたが、プレイ中は雨も降らず、無事最後までプレイできました。みなさん、年齢を感じさせないプレイと体力がとても印象的でした。今年のねんりんピックに出演予定の、男子ダブルス2位、牧田・寺伸祐アコ上

ソフトテニス大会を取材して



百球



ソフトテニス

「テニスは、中学生の頃から始め、今
でも週に4回はプレイしています。ね
んりんピックまで時間もありますし、
更に強くなつて、鳥取県の為にもチャン
ピオンを目指して頑張ります。応援し
てください!」

とっとり県民カレッジ連携講座 平成30年度県民総合福祉大会

県民の誰もが、心豊かに安心して暮らせる福祉社会を確立するためには、県民の福祉の推進に対する理解が必要です。そこで、県民の多くが一堂に会し、地域福祉を身近な問題、自らの問題として受け止め、福祉のまちづくりに対する理解を深めることを目的に開催します。

- 期日 平成30年8月28日(火)
- 会場 米子コンベンションセンター 多目的ホール 米子市末広町294 TEL(0859)35-8111

- 大会日程 10:30／開会式
11:00／表彰式
11:30／活動発表：あったかハートおたがいさま事業の実践/境港市社会福祉協議会・上道地区社会福祉協議会
12:00／昼食
13:00／アトラクション：とっとりいきシニアバンク演技披露 田中光寿トランペット演奏
13:15／記念講演
○テーマ／心のバリアをはずして
○講師／中野佐世子(なかのさよこ)
NHK手話ニュースキャスター。
第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園審査員
14:30／閉会
■託児サービス、手話通訳・要約筆記あります
■健康コーナー、福祉のお店コーナーあります



中野佐世子 氏

- 問合せ先 県民総合福祉大会実行委員会事務局(福祉振興部内) TEL(0857)59-6344 FAX(0857)59-6340

平成30年度鳥取県高齢者健康運動会

高齢者に適したスポーツ競技を通して、日常生活における健康づくりや仲間づくりの大切さを認識し、活力ある長寿社会を形成するための積極的な健康づくりを普及啓発することを目的に開催します。

毎年、東部・中部・西部の3地区で開催していますが、健康づくりにつながる競技から、優勝をかけた白熱した競技まで盛り上がりのある運動会です。是非ご参加ください。

- 期日・会場
【東部地区】平成30年11月8日(木) コカコーラ・ウェストスポーツパーク県民体育館
【中部地区】平成30年9月28日(金) 倉吉体育文化会館
【西部地区】平成30年10月19日(金) 米子産業体育館

- 内容 個人競技：福つりなど
団体競技：玉入れ・ボール送り競争など

※平成29年度 結果

[東部地区]
ボールころがし…優勝 鳥取市河原
関所破り……優勝 鳥取市河原
玉入れ……優勝 鳥取市河原

[中部地区]

大玉ころがし…優勝 琴浦町A
玉入れ……優勝 倉吉市D
大玉ころがし…優勝 日吉津村

[西部地区]

ホールインワン…優勝 日吉津村
ボール送り……優勝 伯耆町A
大玉ころがし…優勝 日吉津村

- 問合せ先 地域福祉部(明るい長寿社会づくり推進事業担当) TEL(0857)59-6332

とっとりいきシニアバンク 生涯現役まつり

- と き 8月12日(日)鳥取しゃんしゃん祭りの前々日 AM10:00～
- ところ 鳥取市文化センター(末広通り)とその周辺



シニアパワー全開！「しゃん・しゃん・しゃん」と元気の花が咲く

鳥取県と鳥取県社会福祉協議会は元気で明るい長寿社会の実現を目指して「とっとりいきシニアバンク『生涯現役』」の普及に取り組んでいます。60歳以上の方々が資格や特技や技能などを登録され、その豊かな人生経験を地域づくりに活かしていただいているいます。ただいま登録者は1200人。地域イベントや生涯学習などでご活躍中です。バンクが誕生して3周年。これを祝うとともに、鳥取しゃんしゃん祭りに協賛して「生涯現役まつり」を開催します。元気なシニアがステージ、ものづくり、まち歩き、作品展示などで一隅を照らします。どなたさまも入場・参加無料。お盆休み、帰省中のみなさん、ご家族おそろいでおいで下さい。「スゴイ鳥取」を見つけましょう。子どもたちは夏休みの思い出づくり、自由研究の作品づくりを兼ねておいで下さい。良いことがありますよ!

- ステージ／①鳥取ベンチャーズ ②Apon ③アール・ファイブ ④どじょっここの会と美保踊りの会 ⑤一音会 ⑥みずばしょうコラス ⑦鳥取県大衆音楽協会 ⑧松弘美会
- まち歩き／鳥取市に新しくできた自由律俳人・故尾崎放哉の句碑を書家や俳人とともに巡り、俳句づくりに挑戦します。参加申し込みは放哉蔵活用懇話会(090-3635-2843)、または鳥取県社会福祉協議会・シニアバンク事務局(0857-59-6336)へ。
- ものづくり／鳥取ものづくり道場の先生たちが手ほどきします。ミニ傘、笛、木の調理道具、万華鏡、ヤジロベーをつくります(材料代不要、先着順)。
- 展示即売／陶の会、福祉の店「ユーカリ」
- シニア作品展(協賛事業)／全国健康福祉祭(ねんりんピック美術展)に参加する日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真が展示されます。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成30年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>
ふくしの保険 検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金額

保険金の種類	プラン	
	Aプラン	Bプラン
死亡保険金	1,040万円	1,400万円
後遺障害保険金	1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)
入院保険金日額	6,500円	10,000円
手術保険金	入院中の手術 65,000円	100,000円
	外来の手術 32,500円	50,000円
通院保険金日額	4,000円	6,000円
特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ	
葬祭費用保険金 (特定感染症)	300万円(限度額)	
賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)	

年間保険料 (1名あたり)

タイプ	プラン	
	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	350円	510円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地盤・噴火・津波)	500円	710円

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL:03(3349)5137

受付時間：平日の9:00～17:00(土日・祝日、12/31～1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

営業時間：平日の9:30～17:30(12/29～1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一緒にして締結する団体契約です。

(SJNK17-16970 2018.1.9作成)